

- 問1 東京都内の蔵前駅から隅田川に架かる言問橋までの地域を示した2万5千分の1地形図があります。この地形図から読み取れる、蔵前駅から言問橋までの最短ルート沿いの様子について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに保健所の地図記号が確認できる。
2. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに交番の地図記号が確認できる。
3. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに裁判所の地図記号が確認できる。
4. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに税務署の地図記号が確認できる。
- 問2 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。
2. 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。
3. 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。
4. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。
- 問3 関東地方北部に位置するある県は、統計資料において住宅用太陽光発電機器の設置割合が全国上位8都県に含まれています。この資料が示している栃木県の県庁所在地として正しいものはどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 宇都宮市
2. 前橋市
3. 高崎市
4. 水戸市
- 問4 関東地方に位置する都県のうち、東北地方（福島県）とのみ境界を接している県は2つあります。これらの県の県庁所在地の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 水戸市と宇都宮市
2. 前橋市とさいたま市
3. 宇都宮市とさいたま市
4. 水戸市と前橋市
- 問5 1985年に発行された八王子市の地形図では山地や森林が広がっていた地域が、2015年の地形図では大規模な区画整理が行われ、新たな住宅地へと変化しています。この地域の開発に伴い、新しく地図上に描き加えられた鉄道駅の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 片倉駅
2. 北八王子駅
3. 八王子みなみ野駅
4. 高尾駅
- 問6 東京都から神奈川県にかけて広がる京浜工業地帯の工業出荷額の内訳を調べると、他の工業地域と比較してある特定の産業の割合が非常に高いという特徴があります。その産業として最も適切なものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 出版・印刷業
2. 食料品工業
3. 自動車工業
4. 繊維工業
- 問7 1995年を基準とした人口変化の統計において、東京都中央区などの都心部で人口が急激な右肩上がりの増加に転じている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 多摩市などの郊外で大規模なニュータウン開発が行われ、若年層の移住が進んだため。
2. 地方の過疎化を防ぐために、政府が大都市への人口集中を制限する政策を実施したため。
3. 高度経済成長期に地方から都市部への人口流入が続き、都市全体の面積が郊外へ拡大したため。
4. 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。
- 問8 東京都の人口増加の要因について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、東京都の人口移動の統計では、流入する人数が流出する人数を常に大きく上回っています。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 出生率が極めて高いため、出生数が死亡数を上回る自然増が生じている。
2. 再開発によって居住面積が拡大したため、一世帯あたりの人数が増加している。
3. 転入者数が転出者数を超過しているため、社会的増加が生じている。
4. 死亡率が全国で最も低いため、高齢者人口が維持され続けている。
- 問9 関東地方の群馬県沼田市などで栽培される農産物を、新鮮な状態で都市部へ供給するために行われている工夫について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 高速道路網を利用して輸送時間を短縮し、早朝に収穫した品をその日のうちに店頭に並べる工夫。
2. 船舶による大量輸送を導入し、輸送時間をかける代わりに鮮度を保つ特殊な冷蔵技術を用いる工夫。
3. 貨物列車による定時輸送を徹底し、一般道路での渋滞を完全に回避して全国へ配送する工夫。
4. 一般道路のみを使用して、ガソリン代や高速道路料金などの輸送コストを徹底的に削減する工夫。
- 問10 北関東の産業の特色について述べた次の文のうち、交通網の発達と地理的条件の関係として正しいものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 沿岸部の港湾を拡大させることで大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが建設され、内陸部では伝統的な絹織物業が再興した
2. 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている
3. 高速道路が開通したことで内陸部の工場は沿岸部へと移転し、空いた土地を利用して大規模な稲作が行われるようになった
4. 鉄道網の拡充によって都市部への通勤が容易になったため、工場や農地は姿を消し、地域全体が住宅都市へと変貌した
- 問11 成田国際空港を擁する千葉県、訪日外国人観光に関する統計上の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 成田国際空港からのアクセスが良いため、延べ宿泊者数が延べ訪問者数を上回るという逆転現象が起きている。
2. 一人当たりの旅行消費単価が全国5位以内と非常に高い一方で、延べ訪問者数は全国平均を下回っている。
3. 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。
4. 延べ訪問者数と一人当たりの旅行消費単価のどちらも全国最下位に近い水準であり、空港の活用が課題となっている。
- 問12 日本の主要な河川のデータをまとめた資料において、ある河川は「長さが322km、流域面積が16,840平方キロメートル、流れる流域の都道府県数が6」と示されています。この河川について述べた文として、背景や影響を考慮して最も適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. この河川は、日本で最も長さが長い、上流と下流での降水量の差による増水が全国で最も激しい。
2. この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。
3. この河川は、流域面積が日本で2番目に広い、北海道の泥炭地の地質改良に大きく貢献した。
4. この河川は、山地が急峻な日本の河川の中では珍しく、国際河川のようにゆったりとした流れが特徴である。
- 問13 首都圏の外縁部に位置する茨城県では、近年、人口増減率がマイナス0.59パーセントを記録し、高齢者割合も約30パーセントに達するなど、人口減少が進行しています。このように死亡者数が出生者数を上回ることによって生じる人口の減少を何と言いますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 自然減
2. 社会増
3. 社会減
4. 自然増